むつ青年会議所発行

考動日々

隔月刊
9月30日(木)
2015年（平成27年）

発行元
一般社団法人
むつ青年会議所

〒035-0031
青森県むつ市柳町1-10-25
まさかりプラザ内

発行責任者
総務情報委員会
大久保／尾崎
須藤／中山

むつ青年会議所は
下北ジオパーク構想を応援しています

理事長挨拶

第56代理事長
村舘洋介
MURADATE YOUSUKE

皆様こんにちは。朝晩の気温差が激しくなってきましたが如何お過ごしでしょうか。

八月は、臨時総会にて立花一行君が次年度理事長予定者となり、今年度の半分が終わった感じです。また、九月総会にて、二〇一六年度の理事役員も決まり、次年度体制が動き出しました。

八月は、三十一回目を迎えるみこし祭りが行われました。九月には、東北青年フォーラムの為、福島県二本松市へ。そして姉妹JCであります会津若松市へ今年は数名で行って参りました残念ながら馬に乗ることは出来ませんでしたが、新たな気付き・学びを得てきました。

そして、そのまま全国大会東北八戸大会へ副主幹として参加しました。連日、メンバーとも駆け付けてくれて、むつJCの存在感を出せたと思います。

二日～二十七日までの長丁場でしたが、メンバー全員に助けられました。ご支援ご協力お願い申し上げます。

徒歩事業部統括幹事
櫛引亮
AKIRA KUSHIBIKI

まさかりロード2015ご報告!!

まずはこの事業に携わってくれたすべての人に感謝しております。

去年の十月から動き出した「まさかりロード2015」山口実行委員長、前回の実行委員長でもある高屋副理が中心となりこの事業を進めてきました。前年度とは違い徒歩以外に船での移動やジオサイトの講習、そして最終日予想外の雷雨など前年度以上に盛りだくさんの内容でした。

一日目、二日目の疲労や靴ずれ等のせいで、三日目の朝にはリタイヤする参加者がでるかもしれないと頭をよぎるほど今回は辛かったです。しかし日を追うごとに安心して参加者を任せる事が出来るくらい成長してくれていくボランティア、足を引きずりながらも一生懸命歩く参加者たち、チームだけではなく個々に励ましあい助け合い、まさかリコールを連呼しながら歩くみんなの姿に本当に感動しました。

そしてこの事業を支えてくれた会議所メンバーやOBの先輩方のおかげで一人も欠けることなく無事ゴールで来たと思います。最高の仲間達とこの事業を行う事ができて幸せでした。本当にお疲れさまでした。

地域活性化委員会委員長
川徳貞道
SADANORI MICHIKAWA

みこし祭ご報告!!

まずはじめに、私には、この想いを四百字でお伝えすることは出来ません。巻いてお伝えすることをお詫び申し上げます。

八月十九日、皆様のお陰をもちまして、第三十一回みこし祭りを開催することができました。関わって頂いた皆様のご支援・ご協力のお陰をもちまして、新たな取り組みも行えました。

私事ですが、長期に渡り各事業へ参加できなかったこと、大変申し訳なく思っております。

開催にあたり私の把握しきれない部分まで、多くのメンバー・OBの先輩・関わって頂いた「全ての皆様」が、率先して「考動」して下さいました。

そして、なによりも、みこし祭り当日は「平日」にもかかわらず、関わって頂いた「全ての皆様」に対し、私は「感謝」の言葉しか思いつきません。ありがとうございました。

この事業を通じ、沢山のドラマがありました。

そして、身を持って「奉仕・修練・友情」の三信条を学ぶことができました。このような経験をさせて頂き、私の人生観に対し、多大な影響を与えたと感じております。